

流量調節型
アンプリーター (アルミ&ステンレス) の取り扱いについて

性能・特性

本機は、多量で高速の送風をおこないます。
 圧縮空気が動力源で、回転部品が無く、故障等の心配がありません。
 供給された圧縮空気は、本機のリング状ノズル(隙間)を通過し、薄いリング状の高速空気となり、同時に、多量の周囲空気を引き込み、集中送風となり排出されます。
 一般の噴射ノズル等に比較すると、空気消費量、騒音等が低くなります。
 噴射する場合は、使用点に正確に当たるよう位置を決め送風を行ってください。
 又、吸い込み・搬送・煙や匂いの除去等の場合は、本機の両端もしくは片方にホースを接続して使用することも出来ます。

性能表 at5.5kg/cm²

Model No.		空気消費量	増幅率	吐出空気量(ℓ/min)		騒音値
アルミ	ステンレス	(ℓ/min)	(倍率)	出口	at15cm	(dBA)
6040	6030	252	10	2430	7556	78
6041	6031	365	16	5635	17489	81
6042	6032	608	20	11739	36507	82
6044	6034	1415	24	33960	101880	84

*** 吸引力・吐出力が弱い場合**

ロッキングを緩め、隙間を調節して下さい。隙間をより大きくあけますと、吸引力、吐出力が大幅に増すこととなります。但し、空気消費量も増します。

圧縮空気の供給

配管途中にフィルター分離器を使用してください。
 圧縮空気中に水・油・塵等があると、リング状のノズルを通過する空気量が減り性能が低下します。
 特に油が含まれている場合は定期的に洗浄して下さい。ノズル部に薄膜が張って性能を低下させます。

圧縮空気圧

効果的な供給圧力は5kg/cm²～8kg/cm²です。
 供給圧力を調節して、流量や力を無段階に制御することが可能です。

保守・点検

本機には、動く部品が全くないので、供給空気から水分・油・塵等を完全に分離濾過する限り、保全の必要がありません。
 もし、性能に変化がみられる場合は、本機を分解して、点検して下さい。
 本機は二つの部品からなっており、これらに汚れが無いかどうか、ノズルの溝部に油膜等がないか、を点検して下さい。
 汚れ等があれば、きれいにしてから再組立して下さい。
 本機に汚れが無いのに性能が低下した場合は、フィルター等に汚れがたまり過ぎていないかどうか点検して下さい